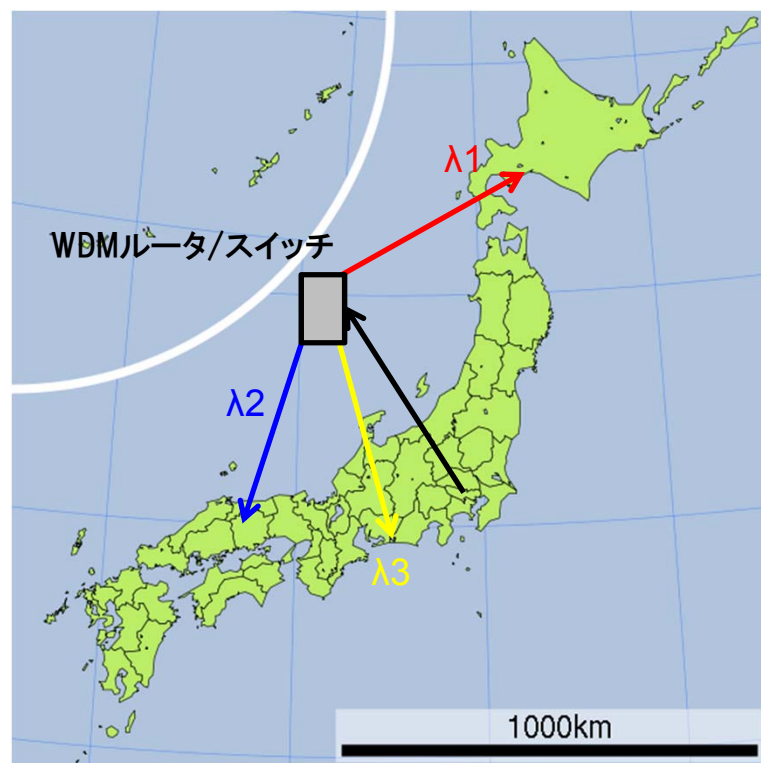


Tバンド、Oバンドによる大波長空間利用技術の開発(補足資料)

従来の波長空間

- ・限られた波長空間でパスを張る
- 頻繁なパス切り替えが必要

(例: 場所と波長空間を一対一対応)



大波長空間利用技術(本委託課題)

- ・広い波長空間を豊富に利用。
- パス切り替えが少なく、低消費エネルギーとなる
- 各個人への波長割り当ての可能性

